

課題研究方法論⑥ ～研究することを決めるために～

前回までの総合を受け、自分の興味・関心がある分野の中でこんなことを研究してみたいというテーマは出てきたでしょうか？ 今回の総合では、「研究テーマ」をもう少し掘り下げ、具体的に研究でどのような疑問を解決したいのか（＝① **リサーチクエスチョン**）を明らかにしたり、（①）に対する答えの予想（＝② **仮説**）を立てたりする方法を学習する。

1 リサーチクエスチョンを設定するために ～先行研究・事例から学ぶ～

（注） 研究を進める中で新たな問いが見つかり、リサーチクエスチョンを変更することはあり得る。その都度、ここで学ぶ方法を用いて問いを吟味しよう。

(1) なぜ「先行」が重要なのか？

- (a) 課題研究の定義から：「先人たちが行った研究の（③ **業績**）を踏まえた上で、…」
- (b) 先人たちから学び理解することで、自分の研究の社会的・学術的な意義を確認するため
- (c) 自分のリサーチクエスチョンがすでに答えられていないか確認するため

(2) 先行研究・事例の探し方（テキスト P. 49）

- (a) 先行研究を調べる
 - ・ 研究テーマに関する本（研究紀要，入門書）
 - ・ インターネット上にある研究論文
 - 国立国会図書館 NDL-OPAC CiNii-NII 論文情報ナビゲータ Google Scholar など
- (b) 先行事例（＝官・民で行われた取り組み）を調べる
 - ・ 国や地方自治体の Web サイト上にある情報や報告書
 - ・ 会社や NGO, NPO などの取り組みをインターネット上で検索
 - ・ 関係者や有識者への聞き取り（テキスト P.60～63）



(3) 先行研究・事例から学ぶ

- (a) 研究論文などの文献のつくり（テキスト P.49～51）
 - ・（④ **序論**），（⑤ **本論**），（⑥ **結論**）の3部構成で書かれていることが多い
 - ・（④）：研究の導入部分
 - （⑦ **何を**）（⑧ **どのように**）明らかにするのかを，研究意義とともに述べる
 - ・（⑤）：論文の本体の部分
 - リサーチクエスチョンに対する（⑨ **答え**）を導く
 - ・（⑥）：論文の総括の部分
 - その研究で行ったことと（⑨）を簡潔に示す
- (b) 先行研究・事例の理解を深める（テキスト P.50～51, 67）
 - 研究論文からリサーチクエスチョンを引き出すために，次の観点で論文を見てみよう
 - ・ 論文のリサーチクエスチョンや研究の目的は何か？
 - ・ どのような（⑩ **研究手法**）を用いているか？
 - ・ 論文に触れるまで知らなかった事実や，理解が深まった点は何か？
 - ・ 論文に触れて生まれた疑問や，それらでは不十分だと考えられる点は何か？

2 リサーチクエスチョンを導く

- ★ 漠然とした(⑩ 疑問文)の形から掘り下げていく(テキスト P.52~59, 68~69)
 - ・ これまでに抱いた疑問や関心を疑問文で表してみる
 - ・ 社会的な課題に関する研究の場合は、そこからさらに…
「どこの?」「だれの?」「いつの?」「どのように?」といった小さな問いに掘り下げる
 - ・ 自然科学に関する問題の場合は、そこからさらに…
「研究を行ううえで、どのような原理や数式を理解する必要があるか?」
「研究を行う上で必要となるものは何か?」といった小さな問いに掘り下げる

3 仮説を立てる(テキスト P. 64~65)

- (a) 仮説とは何か?
 - ・ 仮説…リサーチクエスチョンの答えの予想であり、もう少し深く言えば、
現在の状況を把握した上で、根拠を元に「答え」を予想したもの
- (注) どんな研究でも初めから仮説が立てられるわけではないだろう
研究を進める中で、仮説がはっきりと見えてきたり、変化したりするものである
- (b) 仮説を立てる際に気をつけること
 - ・ 仮説にも可能な限り根拠を示す
 - ・ その仮説は検証可能かを考える
 - ・ 複数の仮説を立ててみる